



2024ジェンダー平等ミーティング

# ジェンダー平等ミーティング

令和6年度  
若い世代からの  
ジェンダー平等  
推進事業

2024年9月26日(木) テーマ

「防災×ジェンダー」

～若者視点で考え行動する～



SUSTAINABLE  
DEVELOPMENT  
GOALS



# 「防災×ジェンダー」 ～若者視点で考え行動する～

講師：勝身 真理子 さん (ミュージストリーム代表/滋賀県立大学男女共同参画アドバイザー)

- 災害時には、平常時のジェンダー格差が拡大し、女性がより困難な状況に置かれがち(より多くの被害がもたらされる)
- 災害対応、防災の政策決定プロセスへの女性の参画推進や、固定的な性別役割分担意識を平常時からなくしていくなどの取組が欠かせない
- 近年は自然災害が激甚化、複合化。高齢化や共働き世帯、単身世帯の増加など社会のありようも変化し、従来の防災手法はもう限界
- 女性が当事者として発信し参画することは、防災に多様性をもたらし、当事者参加の道を拓き、「誰も取り残さない防災」を実現する重要な足掛かりになる
- 日常の社会にある不平等な男女の関係性を変えるよう取り組んでいくことが、災害時に弱者を生まない災害に強い地域社会づくりにつながる

- 若者は、災害時の救助活動や避難所運営の「担い手」になることもできる
- 特に、平日の日中に通勤や通学で地域から大人たちが流出するエリアでは、小学校の中・高学年や中学生などが、避難誘導など大きな役割を果たすことが期待される
- ジェンダー平等を進めるためには、**エージェンシー**（女性や当事者が選択し、交渉したり意思決定したりできること）、**ジェンダー関係の変革**（社会のジェンダー規範や男女の意識の変革、アンコンシャスバイアスへの対応）、**法律や制度、社会規範の変革**の3つのプロセスが必要
- ジェンダーと多様性の視点に立った防災・減災・復興 ～ 平常時から災害にレジリエントで公正な社会の実現を
- ジェンダーと向き合うことは、自分を大切にし、人生を真に豊かにすることにつながる

# 被災経験から見る女性の困りごと

## 1 生活環境

- ・プライバシー
- ・衛生環境
- ・乳幼児、障害者など居づらい

## 2 治安・暴力

- ・女性と子どもへの暴力、DV
- ・性被害（子ども、幅広い年代の女性）の多発

### 3 物資不足

- ・女性用品
- ・育児、介護用品
- ・アレルギー疾患の物資や食料

### 4 心身の健康

- ・女性特有の病気に（膀胱炎、外陰炎など）
- ・鬱傾向

## 5 固定的な性別役割分担意識が強化

- ・ライフラインの停止で家事が重労働化
- ・福祉、医療、子育てサービスの機能停止で家族ケアも過酷に
- ・「炊き出しは女性が当然」が過重に

## 6 働くこと・収入

- ・女性は非正規雇用が多く解雇リスクが高い
- ・家族ケアが増大、働きたくても働けない女性が増加
- ・母子世帯は貧困に陥りやすい

## 7 意思決定に関わる男女格差

- ・責任者や委員の大半が男性
- ・復興アンケートは世帯主宛で、女性や若者の意思が反映されにくい

## 8 家庭・地域での人間関係

- ・男性の孤立、引きこもり、不慣れな介護の問題
- ・DV、児童虐待、住宅再建等をめぐる家族関係
- ・復興後のコミュニティのあり方

※ジェンダー平等が進んでいないと、災害時男性もしんどい

(男は家族を置いて職場に駆けつけなければ・・・) (男は弱音を吐いてはいけない・・・)





なぜ「防災」に女性をはじめとした多様な視点が必要なのか、

普段からの意識の持ちようがいかに重要か・・・について考えました。

テーマ

# 防災と ジェンダー



「行きたくない避難所」「行きたくなる避難所」って？

自分たちにできることは??

## 行きたくない避難所

- 個人のスペースが確保されていない（仕切りが無い）
- 情報がバラバラで曖昧
- 耐震が弱い
- 汚くて臭い（トイレ）
- 飲み物や食べ物がしっかり支給されない
- 動線がきちんと確保されていない
- 空調がしっかりしていない
- 夜うるさくて寝られない
- 着替えが少ない（着替えができない）
- 対人関係が良くない
- 感じ悪い

## 行きたくなる避難所

- 仕切りがある（プライベート空間がしっかりある）
- 雑魚寝じゃない
- ネット環境がある（最新の情報が知れる）
- トイレなどがきれい
- 食料が十分に確保されている
- スムーズに避難所内を移動できる
- 空調が心地よい
- 多くの衣服、寝間着、下着が借りられる
- 娯楽が多い
- 役割分担がはっきりしている
- 対人関係で不安がない
- 協力できる（思いやりがある）
- 楽しい雰囲気（雰囲気がいい）

## 「行きたくなる避難所」にするために

- ・室内を掃除する
- ・人員確保
- ・設備の管理、確認
- ・いろいろな物資を集める
- ・食料を備蓄しておく
- ・積極的に協力をする
- ・協力する姿勢を見せる
- ・臨機応変に対応できるようにする
- ・世帯主だけでなく全員にアンケートを送る
- ・「チーム」をつくってニーズに対応する